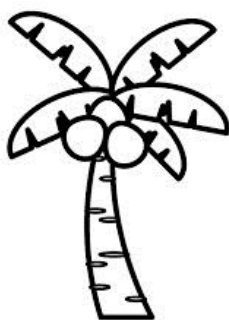


あけまして おめでとうございます

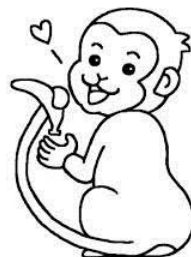
昨年は大変お世話になりました
本年もどうぞよろしく申し上げます



皆様、お変わりなく良き新年をお迎えのことと
心からお慶び申し上げます。
珍しく暖かな、過ごしやすい年明けとなりました。
お寺では千両や南天の赤い実、ロウバイの黄色い花、
種々の赤い椿が時期を迎えています、
やはり雪が降らないと、いま一つ寂しいように感じます。



さて今年は申年です。
サルは、厄や病が「去る」に通じ、神社などに祀られる
縁起の良い動物です。
豊臣秀吉の母が詣でて日輪が懐中に入る夢を見た
日吉神社も、猿を祀る神社でした。
仏教界では、
とりわけ全身を白い毛で覆われた白猿が、
帝釈天の家来として知られています。
そんなサルにまつわる仏教説話を
一つご紹介しましょう。



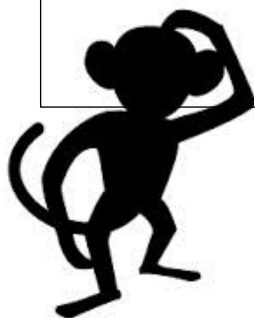
昔、インドのある山に大きな木がたっており、
そこに千匹のサルが住んでいました。
その千匹のうち、一匹は鼻のあるサルで、残りのサルには鼻がありませんでした。
鼻のない999匹のサルは、いつも鼻のあるサルをのけ者にし、
「お前は鼻があるなんて変だ、俺たちの仲間にはできない」と嘲笑っていました。
かわいそうに、鼻のあるサルは悲歎に暮れていました。

ある時、千匹のサルは山を治めている帝釈天に供養しました。
ところが帝釈天は999匹が供養した珍しい果物は受け取らず
鼻のあるサルの供物だけ受け取られました。



ショックを受けた999匹のサルが
「どうして私達の供物を受け取ってもらえないのですか？」と聞くと、
「お前達は前世において仏教をそした罪で鼻を持たずに生まれてきている。
今もなお鼻を持った優れたサルをバカにしている。
だからお前達の供養は受けない」
と帝釈天は答えました。

それ以降、999匹のサルは鼻のあるサルを笑わなくなりました。



この999匹のサルのように、自分達が大多数だからといって
何が正しいことなのか、何が優れたことなのか、
見間違わないようにしたいものです。
この一年、まずは自分の心にしっかりと基軸を持ち、
仏様の教えに添うよう心を調べて過ごしていければと思います。

大智寺だより

平成 28 年 陸 月
Vol.70

発行所
大智寺

岐阜市山県北野
668-1
電話：058-229-1532

《Mail》
hybsr245@ybb.ne.jp
《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichi-ji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去すべての紙面をご覧いた
だけます。ご活用ください。

12月号は
休刊でした。

ご愛読
ありがとうございます

1月15日(金) だいほんにゃえ 大般若会

10:00~法要・11:00~うどん接待・12:30~お焚き上げ

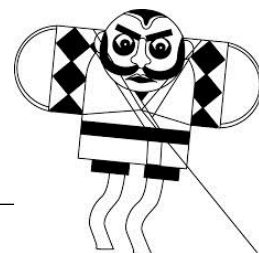


毎年お檀家様にお配りしております新年の大般若札の御祈禱を1月15日に行います。

大般若会とは、「大般若経」六百巻を転読することによって、すべての苦厄を消しさり、五穀豊穡や国家安寧を祈念する大法要です。

この大般若会では、十六善神の掛け軸を本堂正面にかけます。
十六善神とは、姿かたちは醜怪な夜叉や鬼神ですが、佛の教えを聴いて、すぐ改心し、善心をおこして三宝に帰依しました。これらの善神たちが「般若を我々で大切にお守りします」という大誓願をおこしたので、以後、これらの神々を「般若守護の善神」とし、お祀りするようになりました。

この掛け軸をよく見てみると、
そんな神々に守られるように、お経をたくさん背負ったお坊さんがいます。
このお坊さんが、インドのお経を翻訳し大般若経にまとめた玄奘三蔵法師です。
今回はこの掛け軸にまつわるお話をご紹介します。



十六善神 ~ 玄奘法師と深沙大王のものがたり ~

掛け軸の中で、玄奘法師と対峙するように描かれている深沙大王は首からネックレスのようにドクロをかけた、おそろしい鬼の形相です。この深沙大王は、玄奘法師が膨大なお経を持ってインドから帰る途中川のほとりで玄奘法師の前にあらわれ、こう言います。

「法師は前世より代々仏法を求めインドに行かれること、すでに六世に及んでおります。私はそのつとここで待ち伏せして法師の經典を横取りしてきました。そのような悪事を代々六世にわたっておこない、法師もこのために命を落とされること、六世に及んでおります。私の首に掛けているこの骸骨も実は法師の六世にわたるものなのです。したがって今回、法師とこうしてお会いするのは、数えて七度目になるわけです。私は今、これまで犯した大罪を心から悔いています。」

これを聞いた玄奘法師は、
「善いかな 善いかな。あなたの今の懺悔によって、あなたが犯した今までの罪はすべて消滅しました。これから先は、あなたの家来とともに仏法を広めて、衆生済度に精進しなさい」と言いました。

そして所持していた大般若経を取り出して、深沙大王の頭上にかざされました。



深沙大王は
「これからは般若経を身をもって防ぎ守ります。また、般若を敬い信じる人に対しては、現在から未来にいたるまで、いついかなる場合もその願いが叶うよう援護するであります」と言い、三蔵法師に固く誓約しました。

大般若会では、大般若経を命懸けで広めた玄奘法師の偉業に思いを馳せながら皆様のお幸せをご祈禱します。
どなた様もどうぞお気をつけておでかけください。

～ 日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』 ～



お経のやさしい和訳（和讃）から
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課經典
31ページより

20

「今をも知れぬ後の世の 永き冥路を打ち忘れ」

周りがうらやむような生活をしている人でも
明日の事、来年の事、10年先の事は、備えを万全にしたところで不安が残ります。
一国の王家に生まれ不自由な生活をしていたお釈迦様にも「不安」がありました。

その昔、この心の中の「不安」をどうしたらいいか、本気で師匠に尋ねた人がいました。

禅宗の祖である達磨大師のもとで修行を重ねた弟子 慧可（えか）は、
何年たっても悟りを得ることができず、将来に不安を感じます。

うつうつとした不安は耐えられないほど募り、とうとう師である達磨大師に尋ねます。
すると、達磨大師はこう答えました。

「不安だというその心を、ここに持ってきなさい。そうすればお前を安心させてあげよう」
その日から慧可は不安な心を探しますが、ついに「心を探しましたが不可得です」と答えます。

そんな愛弟子に対し達磨大師は「これでお前を安心しておえた」と言いました。

安心を得たいという気持ちこそ、自分の心をかき乱す大きな原因。

終わった過去を変えることも、未来を思い通りにすることもできない私達に、絶対安心などあり得ない。
確かなことは「今生きている」ということ、これに全力で取り組むしかない禅では考えます。

今年のお祝い

皆様おそろいで、うららかな初春をお迎えることとお慶び申し上げます。

昨年は、予定日より9日早く出産を迎え
バタバタし、12月号大智寺だよりを発行でき
ませんでした。一年の終わりにけじめの悪い
こととなり、独りふがない思いで年を越し
ました。おかげさまで娘は順調に体重も増え、
今月半ばから予防接種を受け始めます。食
いしん坊が幸いして、すいぶん手足がおてんば
に動きまわります。泣いていたと思えばパタッと寝
てしまったり、怪獣のような寝息をかいいたり
毎日戸惑いつつ、百面相と向き合っています。

さて禅宗で百面相といえは思い浮かぶのが
阿羅漢です。一切の煩惱を絶ち、悟りを完成
させた仏弟子を阿羅漢といい、その理想的な
修行姿を尊ぶ禅寺では、十六羅漢や五百羅漢
の絵画仏像が多く見られます。大智寺の本堂
でも左右のふすまに十六羅漢を拜んでいた
くことができます。どこかで五百羅漢をご覧
になられた方は、泣き顔、笑顔、怒り顔など
その表情の豊かさに驚かれたことでしょう。

どんな表情も素直な心から生まれたものは
それだけで仏法に通じるのかも知れません。
その昔寄席芸として親しまれた百面相の達人
は、自分の歯をすべて抜いて表情を作ったと
いいます。自分の心と顔の表情がバラバラな
ことの方が多い日常の中で、今年も素直で豊
かな表情を赤子に学び一年となりそうです。
今年もどうぞよろしくお願いたします。

～ シリーズ いますぐできる精進の味 ～

♪ お寺のぶきっちゃんでも簡単に作れた ヘルシーなお味 ♪

半端に残った干し柿で 変わりサンドイッチ

- ① クリームチーズを室温に戻し柔らかくしておく。
- ② 干し柿を小口に刻み、クルミは香ばしく炒しておく。
- ③ クリームチーズに干し柿やクルミ、好きなナッツ類ドライフルーツを混ぜ
食べてみて砂糖を好みで入れる。
- ④ すぐ食べてもおいしいけれど、翌日の方が味がなじんでおいしい。



よく干し柿を観音開きにしてクリームチーズを巻き込むおつまみはあるけど
お正月に残った干し柿を適当に切ってこれを作ると、しばらく楽しめます（笑）
サンドイッチに挟んだりして食べると、なかなか美味。

♪ 月に一度はお寺まいり ♪

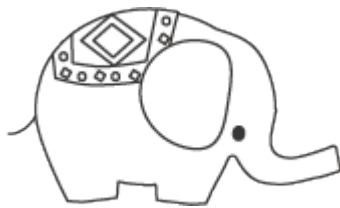
初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

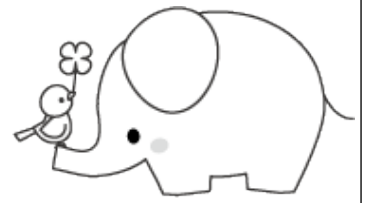
1月24日(日) 一回 500円
(朝8時~9時) (内300円は義援金)
要申込

12月写経会 備忘録

例年に比べてぐっと暖かな年の瀬の日曜日。慌ただしい時期にもかかわらずご参加いただきありがとうございました。今回は「三世諸仏」についてお話しました。平成27年の一年間分34,500円を義援金として12月29日に大本山 妙心寺へ送金させていただきました。被災地の方々のお力になれば幸いです。



大智寺の本尊様に見守られつつ、
故人の新たな一步を本堂からお見送りする
そんな一般葬を希望される方々へ



本堂を会場に営む 一般葬
あれこれ

2 枕経

病院から自宅もしくはお寺に、葬儀社様の寝台車でご遺体が運ばれます。
葬儀社の方が枕飾りを調べてくださるので、都合のつく家族親族が集まり枕経を執り行います。
本来は死にゆく人が不安にならないよう息のあるうちに枕元で唱える枕経ですが、
昨今は、心臓が止まってもしばらくは耳が聞こえているとされ、死後なるべく早くお唱えしています。

お亡くなりになった時間帯によっては、
葬儀社の担当者がすぐかけつけられないこともあるようですが、
枕経には簡易的なお鈴とろうそく、線香、花器があれば十分です。
花器には、できればシキミを飾ります。
準備ができればお茶碗にご飯を盛り箸を立て、湯呑みを添えます。
家族親族はもちろん平服で構いません。



通夜葬儀の日時、流れ、ご戒名のことなど
枕経の場にて、ご家族と簡単な打ち合わせをします。
その際、葬儀社の担当者が同席されるとスムーズです。

ご自宅で お寺で 市営斎場で 営む
家族葬

ご家族・ご親族のみの家族葬をお考えの場合、
ご自宅や市営斎場を会場に営むことができます。

また大智寺を会場にお使い頂くこともできますが、
その場合、指定の葬儀社をお寺でご案内致します。
必ず前もってご相談ください。

家族葬をご検討される場合は、
葬儀社のこと、葬儀会場のことなど含めて
まずはお寺までご相談ください。

完全個別永代供養墓

1区画：38万円~
(墓石代金含む)

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方が
いなくても、お寺がご供養させて頂くお墓です。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦・ご家族一緒に
ひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。
永代にわたり、他の方のお骨と混じらないことから
「完全個別永代供養墓」といいます。
詳しくは、ご見学を含めてご説明しますので、
ご予約の上 ご来山ください。